

今日のキーワード「外国人旅行者」、年間2,000万人へ（日本）

日本を訪れる「外国人旅行者」の数を知るには、日本政府観光局（JNTO）が発表する“訪日外客数”が参考になります。直近2カ月分は、「外国人旅行者」の多い国・地域の推計値が公表され、それ以前の方は法務省統計に基づく暫定値として公表されます。確報値は翌年に公表されます。推計値では世界18カ国・地域、暫定値では世界36カ国・地域からの「外国人旅行者」の数が把握できます。

ポイント1

当初の政府目標を前倒しで達成

9月までの累計は1,449万人、前年比49%増

- 日本政府観光局（JNTO）が21日に発表した9月の“訪日外客数”は、前年同月比+46.7%増加の161万人となりました。殆どの国からの旅行者が増加していますが、けん引しているのは引き続き中国で、伸び率では+99.6%増加、構成比では30.5%でトップです。
- 政府は、当初2020年までに外国人旅行者を2,000万人に拡大する目標を掲げていましたが、早ければ今年にも達成できる見込みになってきました。政府は将来的には、3,000万人の外国人旅行者が訪れることを目指すとしています。

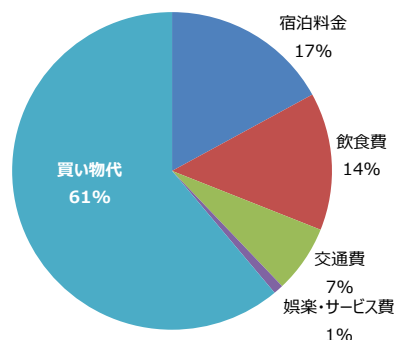
ポイント2

経済効果は3.5兆円

中国人旅行者の消費がリード

- 観光庁が7月に発表した訪日外国人消費動向調査によれば、訪日外国人1人当たりの旅行支出（日本国内で消費された金額で航空券などは除く）は17.7万円と前年同期比で23%増加しています。中国人は28.5万円の支出を行っています。
- 仮に2,000万人の旅行者が、17.7万円の消費を行ったとすれば、経済効果は約3.5兆円となります。現実にホテルの稼働率上昇による宿泊料の上昇、観光バスの納車が1年待ち、百貨店売上高が好調などの現象が見られます。

中国人旅行者、28.5万円の支出内訳(構成比)



（出所）観光庁の訪日外国人消費動向調査（2015年4-6月期）
を基に三井住友アセットマネジメント作成

今後の展開

株安、中国の成長鈍化の影響はうかがわれない

■外国人旅行者数に大きな変動はない

8月以降の世界的な株安、中国経済の減速など、外国人旅行者の増加に不安が生じましたが、9月の旅行者数に大きな影響はうかがわれません。8月の伸び率からは鈍化しましたが、10月に中国の国慶節の連休があり旅行を手控えたことが原因かもしれません。

■“おもてなし”の心が好感される

中国人旅行者の増加には、円安、今年1月からの数次ビザの発給開始に加え、日本に旅行した人たちのインターネットへの書き込みで、日本人のおもてなしの心、清潔、安全、買い物情報などが、幅広く普及してきたことも大きく影響しているようです。

ここも チェック！

2015年 9月25日 今後、存在感増すアジアへの「観光客」（アジア）

2015年 9月24日 「外国人旅行者」の消費が地価にも影響（日本）

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。